

北海学園大学人文学会・人文学部・文学研究科主催パネルシンポジウム

AI がヒトを超えるとき

—相剋から共生に向かうために—

AI（人工知能）が私たちの生活へ浸透してきている中、2045年問題として警鐘を鳴らす学者もいます。AI はヒトを超えるのか、そして、世界にどのようなインパクトを与えるのか。国際日本文化研究センターからゲストを招き、本学教員と共に、AI とヒトの共生を目指して、知の創発的議論を試みます。



ゲスト: 森洋久(もり ひろひさ)

国際日本文化研究センター准教授。

東京大学在籍時、日本発の OS である TRON の開発に携わる。

現在は国際日本文化研究センターで資料のデジタルアーカイブ化からデータベースの構築、活用を担当している。

音楽にも造詣が深く、オペラを自作する。

北海学園大学パネリスト

- 柴田 崇 (司会) (人文学部教授 メディア史、現代メディア論)
佐藤 貴史 (人文学部准教授 ドイツ・ユダヤ思想史、宗教学)
竹内 潔 (工学部教授 細胞生物学、病態生化学)
水野谷 武志 (経済学部教授 経済統計)
山本 健太郎 (法学部准教授 政治学、現代日本政治)

日 時 : 2016 年 11 月 12 日 (土) 14:00~17:00

場 所 : 北海学園大学 1 号館 3 階 33 番教室

http://hgu.jp/guide/toyohira_campus/



参加費 : 無料

主 催 : 北海学園大学人文学会・人文学部・文学研究科

企画協力・後援 : ESRI ジャパン